



本郷中学校だより

令和5年度
第9号

令和6年1月11日発行 横浜市立本郷中学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/hongo/>

【学校教育目標】 自ら学び ひとつつながり しなやかに未来を拓く人

【学校スローガン】 あ（挨拶） せ（清掃） か（感謝） け（けじめ）

保護者の皆様による学校評価アンケート

校長 湊 浩一

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。早速ですが、保護者の皆様にご協力いただいた「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせします。

§1、「学校評価アンケート」の結果

数字は% 上：今年度 下：昨年度

1：よくあてはまる 2：ややあてはまる（1+2=概ね満足） 3：あまりあてはまらない 4：全くあてはまらない 5：わからない

1、子どもは、主体的に授業や学習に取り組み、知識や技能を身につけようとしている。

子どもは、思考力・判断力・表現力を働かせ、自らの課題を解決しようとしている。

R5 1：24.8 2：55.2 ▼(80.0) 3：16.2 4：3.8 5：0.0

R4 1：25.4 2：55.1 (80.5) 3：11.0 4：1.7 5：6.8

2、子どもは、「あせかけ」を生活規律とし、当たり前が当たり前できるようにしている。

子どもは、元気にあいさつすることができ、地域（の人）とも積極的に関わろうとしている。

R5 1：27.6 2：54.3 △(81.9) 3：10.5 4：1.9 5：5.7

R4 1：16.9 2：56.9 (73.8) 3：18.6 4：1.7 5：5.9

3、子どもは、保健体育の授業（ランニング・ラジオ体操・補強運動等）を通して、体力が向上した。

子どもは、学校保健活動を通して、心身の健康の大切さを理解し実践することができた。

R5 1：32.4 2：43.8 △(76.2) 3：17.1 4：1.0 5：5.7

R4 1：16.9 2：55.2 (72.1) 3：17.8 4：0.8 5：9.3

4、子どもは、自他の人権を尊重し、偏見や差別を許さず互いの尊厳を受け入れることができている。

子どもは、年齢・性別・国籍の違いや障害の有無に関わらない、しなやかな多様性をもっている。

R5 1：37.1 2：49.5 ▼(86.6) 3：4.8 4：1.9 5：6.7

R4 1：39.8 2：49.2 (89.0) 3：5.9 4：0.0 5：5.1

5、子どもは、本郷中において、安心して豊かに充実した学校生活を送ることができている。

本郷中は、いじめに対して生徒に寄り添うとともに、毅然とした姿勢で事案に対応している。

R5 1：34.0 2：53.4 △(87.4) 3：9.7 4：2.9 5：0.0

R4 1：36.4 2：48.4 (84.8) 3：9.3 4：5.9 5：0.0

6、本郷中は、学習室を開設し不登校生徒の登校と学習を支援している。

本郷中は、SCやSSWと協働し、不登校生徒の困り感と外的要因の解消に努めている。

R5 1 : 14. 3 2 : 33. 3 Δ (47. 6) 3 : 2. 9 4 : 0. 0 5 : 49. 5

R4 1 : 11. 0 2 : 31. 4 (42. 4) 3 : 9. 3 4 : 1. 7 5 : 46. 6

7、子どもは、困ったことや悩みごとがあれば、教員やSCに相談することができる。

本郷中は、相談活動を通して生徒理解に努め、迅速で包括的な問題解決に務めている。

R5 1 : 20. 0 2 : 47. 8 Δ (67. 8) 3 : 12. 4 4 : 2. 9 5 : 17. 1

R4 1 : 20. 3 2 : 43. 2 (63. 5) 3 : 15. 3 4 : 1. 7 5 : 19. 5

8、本郷中は、保護者や地域に開かれた学校づくりのために、学校ホームページを活用するとともに、「学校だより」や「輝けとわに」を発行するなど情報の発信に努めている。

R5 1 : 58. 1 2 : 36. 2 Δ (94. 3) 3 : 2. 9 4 : 1. 0 5 : 1. 9

R4 1 : 66. 2 2 : 25. 4 (91. 6) 3 : 5. 9 4 : 0. 0 5 : 2. 5

§ 2、ご意見（自由記述）への回答

○寄せられたご意見 ⇨回答

○1人1人の教育に熱心ではない。

⇨具体的な場面が浮かびません。本校の教員は一人ひとりの生徒に寄り添い支援していると信じています。ただ、熱心でないと感じられるのであれば、改善しなければならないところがあるのだろうと考えています。

○陸上部ができて欲しいとの保護者間で声があります。団体競技以外に個人で入れるような運動部があると、子供たちの選択肢が増えていいと思います。

⇨そうしたいところですが、本校の規模でこれ以上部活動を増やすことは難しいと考えます。

○すべての教員ではありませんが、教員個人の感情が前に出過ぎ、教員個人の好き嫌いで生徒を判断している節が多々ある。各生徒の偽表面しか観ておらず、正しい生徒評価がされていない。

⇨そのようなことはないと考えていますが、そう感じられるのであれば、襟を正さなければならないと思います。また、努力はしていますが、子どもたちの全てを見取ることには限界があることをご理解ください。

○トラブルなど隠したりせずきちんと全て親に知らせてほしい。嘘の情報を流されいまだに苦しみ登校している子もいることを知ってほしい。

⇨本校は、保護者の皆様と情報を共有することにしています。また、そういうことに対しても完全ではありませんが、学校ができる対応をしています。そして、そのような事案があれば、学級担任までお申し出ください。しっかりと対応させていただきたいともいます。

○輝けとわに、毎回楽しみにしています！⇨ありがとうございます。

○特に女子はこのままずっとマスク生活をしていくのか、していくことで将来どうなるのか不安しかありません。うちは男子なこともあり積極的に取らせているけれど、特に女子は表情も読み取れない人間になっていくのではないかと不安に思います。変な時期にインフルエンザが流行ることも過剰なまでのマスクと消毒による免疫力低下が原因だと思うので本末転倒になっている気がします。親が言っても取らない女子も多いと聞きます。先生によっても様々なご意見があるかと思いますが、大げさではなく普通に恋愛すら出来なくなるような気がしてなりません。

⇨本人の意思に反してマスクの脱着を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします。（厚生労働省）学校はこれ以上の判断をすることができません。

○この学校にいるメンツたちの闇をよく聞きます怖いです。

⇨具体的なことはわかりませんが、人間の闇や業は深いものがあることは承知しています。しかし、全校生徒

一人ひとりの間までは把握できません。そして、学校に何ができるか想像できません。

○制服廃止または、冬の制服登校廃止、冬もジャージ登校可能に。または、男女差無し制服に。(ユニクロなどを使用するなどお金がかからないように。

☞標準服は様々な対応を考えています。ただ、時間もかかり影響が小さくないので、80周年か建て替えを機に、何らかの回答が出せればと考えています。前任校で、ユニクロに相談したこともあるのですが、定番商品(毎年同じもの)がないため標準服にするのは難しいと判断しました。

○一年生の教育状況が芳しくないという聞きが、小学校のように学校からの配布物や提出物も子供の自己管理となっていて家庭ではどのようにサポート出来るのかが分からない。学校ではどのような対策を講じているのか、目に見えない。

☞ご指摘のように生徒指導等で苦慮する場面はありますが、この学年だけがということではありません。また本校は配付物や提出物を自己管理できるように育てることが大切だと考え、教育活動に取り組んでいます。ご家庭におかれましては、声掛けをしていただき、それを促していただくと助かります。

○生徒と共に運動会等参加して楽しく過ごしていると思います。☞ありがとうございます。

○生徒たちが心身ともに健康に学校生活過ごせますよう見守りご指導下さいますようお願いいたします。

☞引き続き努力していきます。

○輝けとわに、親子共々とても楽しみにしています。☞ありがとうございます。

○部活動の中での先生方のご指導、関わりも、子どもの成長に繋がってきていると感じています。自信をもって自分のやりたいことを発言したら行動できるようになったと感じています。特に合唱コンクールでは、難しい思春期の子どもたちがよくまとまり、素晴らしい姿だったことに感動しました。このような学校に通えたことを親として感謝しています。☞校長の僕も、合唱コンクールは感動しました。

○授業中にいつもあくびしている先生がいると聞きました。先生たちの大変さよくわかります。ただ先生が楽しんで授業をしているかは、生徒たちが楽しんで授業を受けることにつながっていると思います。残念だなと感じました。

☞そのようなことはないと思いたいのですが、体調の悪いときもあります。事実であれば申し訳ないと思います。また、ご指摘はそのとおりだと考えています。分かるから楽しい授業を目指したいと思います。

○いつも親身に子供達の教育育成に携わって下さりありがとうございます。☞引き続き努力していきます。

○校長先生が毎週書かれている「輝けとわに」がすごく良いと思います。授業ではなかなか教えられない大人の理想と本音が書かれていて、毎号おもしろく読んでいます。我が子も毎回興味を持ってちゃんと読んでいます。道徳に関する内容を、正論すぎずに校長先生の本音も交えて書いてくださるので、子どもにも届いていると思います。今何気なく読んでいた言葉を今後なにかの節目のときに思い出したりするんじゃないでしょうか。☞ありがとうございます。もし、そうなってくれたらうれしいです。

○部活動や課外活動を通じて様々な経験、体験をすることで自ら考え相手のことも思いやりながら行動する力がついてきていると思います。☞ありがとうございます。引き続き努力していきます。

○理科の授業で試薬の塩酸を薄めて生徒に舐めさせていると聞きました。信じられません、即やめさせてください。☞わかりました。

○ホームページに学校の年間スケジュールを載せて欲しい。4月にいただいた年間予定表には卒業式の日が載っていなかったためHPで調べようとしたらなかったので残念でした。

☞卒業証書授与式の日程は学校独自では決められず、県中学校長会から夏休み前に指示が出ます。そのため、4月には記載ができません。HPの件は、教務と相談し善処したいと思います。

○いつもありがとうございます。息子は1年生ですが、4月以降とても充実した毎日を送らせていただいております。大変感謝しております。吹奏楽部に入部した為、思いがけず母子共に忙しくなりましたが、それもまたありがたい機会と捉えております。1年生ご担当の先生方におかれましては、子ども達が学習に興味を持っ

て取り組める様な授業運営をしてくださっている様で、息子はそれぞれの教科の先生の話をするのですが、楽しそうでとてもありがたいなと思っております。また、母子共に湊校長先生のお便りをとても楽しみにしております。飾らない率直なアドバイスが、思春期の子ども達にはとても重要だと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

☞1年の教員も、吹奏楽部の顧問も、励みになると思います。教員も褒められて成長していきます。

○定期テストに問題が多いです。①まず誤字、間違いが多い。これ、致命的。子供に厳しくする権利なしです。②範囲外、または範囲の一部が全くでない。公立中学校ですよ？③配点がいびつ。100点満点でない。適当さがにじみ出てます。④採点基準が不明瞭。文法間違えてるのに〇など、下手な優しさは子供を返ってバカにします、など。正直、一言で言うと、雑です。こんな内容で内申を決められるのに腹が立ちます。公平なのか？甚だ疑問です。管理職の先生は、ちゃんとチェックしてますでしょうか？少なくとも試しに解いてみたら分かる間違いが一杯あります。何か物事の優先順位を間違えてませんか？

☞ご心配をおかけして申し訳ありません。点検はしていますが、全ての問題を解くところまではできていません。誤字脱字等は気を付けていますが、管理職点検の甘さだと反省しています。また、学習指導要領の改訂に伴い、積み上げ式の100点満点でテストを行う必要性がなくなっています。ご理解ください。

○社会のテスト問題が、教科書に沿っていない教員独自の問題が多いように思います。また、数学では一度も授業を受けていない教員がテスト問題を作っており、クラスによって差が出るのではと疑問に思います。

☞社会については、仮に教科書に沿っていない独自の問題だとしても、学習指導要領の範疇のもので、そこに教員の狙いがあると信じています。数学に関しては、少人数授業を展開していますが、教員間で連携を取り合いながら授業を進めているので、ご心配のようなことはありません。ご安心ください。

○1年生は個人面談で、テスト結果のグラフや提出物の出してる出していないを紙でくれたので、テストの点数など全て把握しきれなかった私にとっては大変助かりました。3年に上の子がいますが、そちらでも配布してくれていたらなーと思いました。

☞次年度からは、学校として統一できるよう検討していきたいと思えます。

§ 3、考察（のようなもの）

学校評価アンケートの結果は、6アップ2ダウンだったのでほっとしました。下がった2つも微減だったため、まずまずの評価をいただけたかなと考えています。そのなかでも嬉しかったのは、2【「あせかけ」を生活規律とし、当たり前前の方が当たり前前にできるように…】が8.1%も上がったことです。昨年は、自分が掲げたスローガンにもかわらず数字が振るわず、かなりめげていました。正直、ほっとしました。逆に残念だったのは、8【情報発信】の「よくあてはまる」が8.1%も下がったことです。これは、校長の仕事だと考えているので、力不足を痛感しています。新鮮味がなくなってしまったことが理由かもしれません。個人的には、生徒の皆さんの活動や声を伝えたいのですが、様々なハードルを超すことができません。また、6【学習室を開設し不登校生徒の登校と学習を支援している…】では、「わからない」という回答が49.5%という数字は致し方ないのかなと考えています。広報はしていますが、実際にお子様を利用しないと回答できないのも事実だからです。

しかし、自由記述を読ませていただき、一つ一つのご意見が、グサグサと突き刺さりました。そんな状態でもできるだけ正直な回答をさせていただきました。そのうえで、いただいたご意見を全校で共有させていただき、改善できるものから実行に移したいと考えています。そうはいつても、年度が改まってからというものもあれば、さらに時間がかかるものもあります。その点は、ご理解ください。そして、厳しいご意見も、本校への温かいエールとポジティブに受け止めています。目的をはっきりさせ、よりよい学校づくりを進めていきます。

その一方、温かい激励の言葉もいただきました。「豚もおだてりゃ木に登る」という諺があります。その豚が僕です。数えきれない保護者の皆様の温かい励ましがあって、ここまで教員生活を続けてこられました。教員は生徒や保護者に育てられる仕事だと考えています。引き続き、本郷中を、そして教職員を、ご支援ください。